

化学品OEMを本格展開へ

探傷剤大手の22年より事業開始、着実成長
マークテック

エアゾール金属探傷剤の最大手であるマークテック（東京都大田区）は8月28日日本紙取材に応じ、22年に開始した化学品受託生産事業について、現況と当面の見通しを明らかにした。同社は非破壊検査装置お

よび印字マーキング装置の国内トップメーカーであり、研究開発型の化学品総合メーカー。23年に総合受託部を新たに開設しOEM／ODM事業を本格的に開始、「創業から約70年にわたる実績とノウハウで、顧

客のモノづくりをトータルサポートする」としている。受託生産の品目例としては、探傷剤、洗浄剤、加工油、防錆剤、離型剤、染料塗料（インク）、顔料塗料（ペイント）など。化学品総合メーカーとしての実績

とノウハウで、新製品開発や既存品の改良に対応。コスト面から最適な製品ロットを提案し、大ロットから小ロットまで幅広く対応する。これまでのOEM生産実績は、洗浄剤やコーティング剤、離型剤、カーケア用品などで、エアゾール製品としては金属探傷剤や洗浄剤がある。エアゾール充填など自社工場できないものは協力企業に外注する。協力企業40社を超えるネットワークを構築しており、「まずは相談いただきたい」（同社）と強調している。

千葉・大栄工業団地の成田工場の受託生産棟は、22年に1700平方メートルを含む生産設備を新たに設置し、さらに2基のタンクを導入予定という。また、製品保管倉庫を5棟備え、危険物・非危険物を問わず受託生産品の在庫が可能。そのほかグローバルな生産拠点と調達ネットワークを持ち、中国工場やエアゾール充填設備を有するタイ工場でも日本と同じ品質で現地生産が可能、海外展開をサ

ポートできることも強みとする。同社は、「全生産量のうち現在OEM比率は15〜20%。今後も積極的に設備投資し、同比率を50%まで上げる計画にある」と語っている。

問い合わせは同社ウェブサイトか営業本部（03-3762-4453）まで。

株式会社エアゾール産業新聞 発行
エアゾール&受託製造産業新聞
(2024年9月25日)